

# '(レポート (ベクトル 計算) (対象 lisper))

渡邊 陽平

2024 年 4 月 1 日

## ベクトルの成分

### ベクトルの成分表示

x 軸、y 軸の正の向きと同じ向きの長さが 1 のベクトルを基本ベクトルといい、それぞれ  $\vec{e}_1, \vec{e}_2$  と表す。

ベクトルを x と y の増加量で書くと次のようになる。

$$\vec{a} = (a_1, a_2)$$

$a_1, a_2$  をそれぞれ  $\vec{a}$  の x 成分、y 成分と言う。まとめて成分とも言う。

2 つのベクトルについて次が成り立つ。

$\vec{a} = \vec{b}$  であれば  $a_1 = b_1, a_2 = b_2$  また、ベクトルの大きさは次のように求められる。

$$\vec{a} = (a_1, a_2) \text{ のとき、} |\vec{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$$

ベクトルの成分表示は common lisp の cons セルを用いて以下のように表せる。

$$(x \ . \ y)$$

ベクトルの大きさを求める関数を common lisp で書くと、

```
(defun size (vector)
  (sqrt (+
    (expt (car vector) 2)
    (expt (cdr vector) 2))))
```

## 和, 差, 実数倍の成分表示

ベクトルの和、差、実数倍は次のことが言える。

$$(a_1, a_2) + (b_1, b_2) = (a_1 + b_1, a_2 + b_2)$$

$$(a_1, a_2) - (b_1, b_2) = (a_1 - b_1, a_2 - b_2)$$

$$k(a_1, a_2) = (ka_1, ka_2)$$

要はそれぞれの成分同士を足したり引いたり、それぞれの成分にかけてやれば良い。

ベクトルの和、差、実数倍を求める関数は

```
(defun wa (firstvector secondvector)
  (cons
    (+ (car firstvector) (car secondvector))
    (+ (cdr firstvector) (cdr secondvector))))

(defun sa (firstvector secondvector)
  (cons
    (- (car firstvector) (car secondvector))
    (- (cdr firstvector) (cdr secondvector))))

(defun zissuubai (vector number)
  (cons
    (* (car vector) number)
    (* (cdr vector) number)))
```

## 座標平面上の点とベクトル

座標平面上に2点  $A(a_1, a_2), B(b_1, b_2)$  がある時、 $\overrightarrow{AB}$  は  $\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}$

$$(a_1, a_2) - (b_1, b_2) = (a_1 - b_1, a_2 - b_2)$$

以上から次が言える。

$$\text{二点 } A(a_1, a_2), B(b_1, b_2) \text{ について } \overrightarrow{AB} = (a_1 - b_1, a_2 - b_2)$$

$$|\overrightarrow{AB}| = \sqrt{(a_1 - b_1)^2 + (a_2 - b_2)^2}$$

上は差を求める関数を使えばよいので lisp のコードは書かない。

## ベクトルの内積

### ベクトルの内積

大きさが0ではない2つのベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  について、適当な点 O から伸ばした先を A,B とする。∠AOB の優角でない方を  $\vec{a}, \vec{b}$  のなす角という。

$|\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$  を内積という。  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  と書く。

### 成分による内積の表示

ベクトルの内積は成分表示を用いて次のように表すことができる。

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = a_1b_1 + a_2b_2$$

内積を求める関数は

```
(defun naiseki (firstvector secondvector)
  (+ (* (car firstvector) (car secondvector))
      (* (cdr firstvector) (cdr secondvector))))
```

なす角を求める関数は

```
(defun nasukaku (firstvector secondvector)
  (acos (/
    (naiseki firstvector secondvector)
    (* (size firstvector) (size secondvector)))))
```

なす角が  $90^\circ$  のときは内積は0になる。  $\cos 90^\circ$  は0だからである。仕方ないね。

### 内積の性質

次が成り立つ。

$$\begin{aligned}\vec{a} \cdot \vec{a} &= |\vec{a}|^2 \\ \vec{a} \cdot \vec{b} &= \vec{b} \cdot \vec{a} \\ (\vec{a} + \vec{b}) \cdot \vec{c} &= \vec{a} \cdot \vec{c} + \vec{b} \cdot \vec{c} \\ \vec{a} \cdot (\vec{b} + \vec{c}) &= \vec{a} \cdot \vec{b} + \vec{a} \cdot \vec{c} \\ (k\vec{a}) \cdot \vec{b} &= \vec{a} \cdot (k\vec{b}) = k(\vec{a} \cdot \vec{b})\end{aligned}$$

## 位置ベクトル

### 位置ベクトル

平面上で点  $O$  を決めておくとどんな点  $P$  でもベクトル  $\vec{p} = \overrightarrow{OP}$  によって決まる。

これを位置ベクトルと呼び、上の例では  $P(\vec{p})$  で表す。

二点  $A, B$  に対して、 $\overrightarrow{AB} = \vec{b} - \vec{a}$  が言える。

### 内分点、外分点の位置ベクトル

2 点  $A(\vec{a}), B(\vec{b})$  にたいして、線分  $AB$  を  $m:n$  に内分、外分する点の位置ベクトルは次のようになる。

内分:

$$\frac{n\vec{a} + m\vec{b}}{m+n}$$

外分:

$$\frac{-n\vec{a} + m\vec{b}}{m-n}$$

内分、外分する位置ベクトルを求める関数は

```
(defun naibun (firstvector secondvector m n)
  (/
    (+ (zissubai firstvector n) (zissubai secondvector m))
    (+ m n)))

(defun naibun (firstvector secondvector m n)
  (/
    (+ (- 0 (zissubai firstvector n)) (zissubai secondvector m))
    (- m n)))
```

### 三角形の重心の位置ベクトル

三角形の重心の位置ベクトル  $\vec{g}$  を求める。位置ベクトル  $\vec{g}$  は  $\vec{g} = \frac{\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}}{3}$

重心を求める関数は

```
(defun zyuusin (firstvector secondvector thirdvector)
  (/ (wa firstvector (wa secondvector thirdvector)) 3))
```